

「染めを生業うまち」のはじまりの絵を巡る

日本建築学会コンペの際に描き、「染めを生業うまち」を目指すきっかけとなった絵を、染色工房やギャラリーなどの様々な場所と結びつけて展示を行います。多くの方が絵とまちを巡って、このまちのことを考え、想像を膨らませることの出来るまちのギャラリーを企画しています。

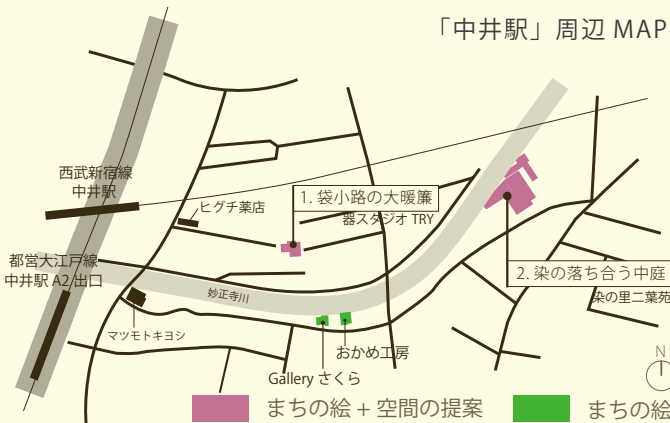


3 to 365

- 染の小道からはじまる新しい風景の構築 -

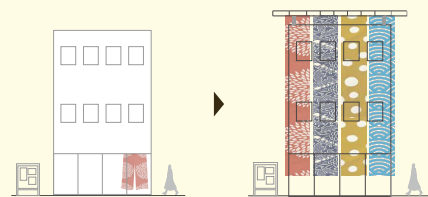
2017.2.24Fri. 25Sat. 26Sun. 10:00-17:00

私たち「bohèmes」は、横浜国立大学大学院 Y-GSA を在学または卒業し、建築と都市について考えてきた学生が集まってできたチームです。3to365は、かつて染色業で栄えた落合・中井のまちを対象とし、3日間の「染の小道」のお祭りから日常へをテーマに、染のまちのこれからを考えていくプロジェクトです。



1 袋小路の大暖簾

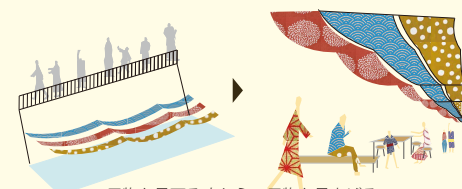
ギャラリー付き賃貸住宅を経営している器スタジオ TRY の建物の壁面を、反物で覆い尽くすプロジェクトです。反物の持つ、身体を超えたスケールの魅力とその迫力を感じることができます。



軒先にかかる小さなのれんから、大きなのれんへ

2 染の落ち合う中庭

染色工房の二葉苑にある中庭を使った反物のインスタレーションです。染の小道の見所である川のギャラリーを頭上に展開することで、反物の下に潜り込んだような空間体験ができます。



反物を見下ろすから、反物を見上げるへ



1 袋小路の大暖簾 (器スタジオ TRY)



2 染の落ち合う中庭 (二葉苑)